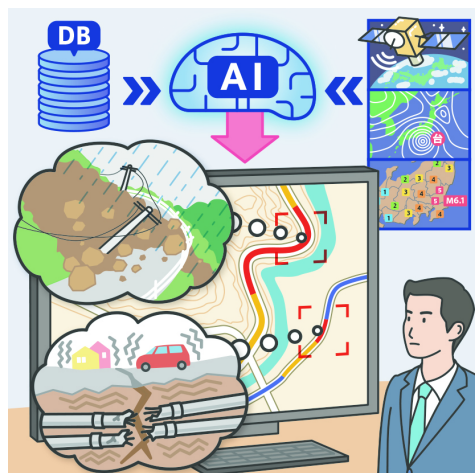




背景

想定される大地震や激甚化する豪雨においても、社会インフラは機能維持が求められます。災害発生前に被害を低減させる対応や災害時の事前準備が必要ですが、インフラ設備は数多くあり、全体への対策は困難です。このため精度よく被災予測し、効率的に対策する必要があります。

成果の概要

NTTの有する膨大な通信の設備データから、災害時に被災する設備のパターンを学習したAIを構築し被災を予測します。これをさまざまな社会インフラ設備に対して補正・応用し、あらゆる設備被災の予測をめざします。



技術のポイント

- さまざまな災害における通信設備の被災データから、被災しやすいパターンを学習
- 特別な現地調査なく、全国的に整備された公開データから被災しやすい設備を予測可能
- 社会インフラそれぞれの特徴を踏まえ、通信設備の被災予測技術を他インフラ設備の予測に展開

この研究がもたらす未来

あらゆる社会インフラの災害に対する被災の予測を可能とし、被災しやすいインフラ設備を優先的に対策することによって、安心安全な社会を実現します。

出展企業

日本電信電話株式会社

問い合わせ先

rdforum-exhibition@ml.ntt.com